

「真摯に、誠実に」

2020年度 魅力ある尾道創造室
副理事長 政成 啓行

近年、少子高齢化に起因する人口減少、地域コミュニティの希薄化や財政問題といった諸問題に加え、2018年に発生した西日本豪雨災害のような従来の安心・安全を根本から覆す災害が発生するなど、尾道のまちに根を張る私たちは新たな課題に否応なく対応し解決していく必要に迫られています。

新たな課題に直面した時、その解決には多くの人の賛同と参画が必要となります。誰かに賛同してもらうこと、参画してもらうことには、真摯な姿勢と誠実な対応が欠かせません。

過去、先人たちが様々な課題を乗り越え、まちの発展に尽くしてきたように、私たちも新たな課題を解決し、あるいは自らが課題を設定し、魅力あるまちの未来を描いていく必要があります。

その為には、私たち自身が切磋琢磨するのは勿論のこと、様々な人と手を取り合い、協力して課題に向き合うべきであると考えます。そうするにあたり、尾道に住み暮らしている人々との密なコミュニケーションや、先人たちが築き上げてきた歴史や伝統に敬意を払うことで、自らがまちの一員であるという当事者意識を持ち行動しなければなりません。

また、魅力ある尾道を望むのであれば、青年会議所運動を共にし、志を同じくする仲間を増やすことは必須です。過去の拡大運動を精査し、それを元に現実に即した活動方法を模索し、如何に様々な人から青年会議所運動への賛同と参画を得るかが問われています。

上っ面の言葉や行動ではなく、真摯に誠実に、まちとひとに向き合い、青年会議所運動に当事者意識をもって臨んでいきましょう。それが、先人への感謝の念であり、次代に継ぐべき姿勢だと考えます。